



高花平だより

2017. 11. 27

第 16 号

四日市市立高花平小学校

一生残る思い出 ～修学旅行～

11月21日(火)～22日(水)、6年生が修学旅行に出かけました。

1日目は兵庫県西宮市にあるキッザニア甲子園と神戸市にある「人と防災未来センター」の体験・見学をしました。キッザニアは、仕事体験のテーマパークです。キッザニアには90以上もの仕事があり、自動車整備工、ガードマン、歯科医師、消防士、ピザ職人、デパート販売員、劇場



のエンターテイナー等々、子どもたちはいろいろな体験を楽しんでいました。「人と防災未来センター」は、阪神・淡路大震災の経験と教訓を後世に伝え、これからの備えを学ぶ防災学習施設です。「車を運転していると、不意に目の前の道路が大きく波打った。そして、土ぼこりが舞い上がり、小石や砂が車の周りに降ってきた。何が起こったのか全く分からなかった。」震災を体験した語り部の人からお話を聞いた後、「1.17シアター」で、特撮とCGを駆使して震災発生瞬間を再現した映像を見ました。大型映像と大音響で地震のすさまじさを体感しました。



2日目は、見事な紅葉に彩られた京都を巡りました。最初に到着したのは石庭で有名な龍安寺。石と砂だけで表現された庭を子どもたちはどのように見たでしょうか。次は金閣。「あっ！鳳凰や。」門をくぐる前に、塀の屋根越しに目ざとく金閣の鳳凰を見つけた子がいました。事前学習で調べてあったでしょう。紅葉を背景にした金閣は、一味違った趣がありました。昼食後に、清水寺を見学。重さ14kgと90kgという「弁慶の錫杖」。14kgのほうを友だちと力を合わせて持ち上げる子どもたちもいました。思い切って決心することを表す「清水の舞台から飛び降りる」の語源となった「清水の舞台」か

らは、紅葉の絶景が眺められました。いつもは大行列ができて音羽の滝は奇跡的に人が少なく、全員が水を飲むことができました。最後は「うぐいす張り」で有名な二条城。将軍家光や慶喜などが実際に歩いた廊下を歩きながら、大政奉還を発表した大広間などを見学しました。



うぐいす張りの仕組みを見る

子どもたちは、旅行中、見学地で学んだことをしおりに熱心にメモし、周りに迷惑をかけることなく規律正しい行動ができていて、充実したよい修学旅行だったと思います。

三泗小学校音楽会に出場 ～5・6年生～



11月17日(金)、5・6年生が、四日市市文化会館第一ホールで行われた三泗小学校音楽会に出場しました。歌う時のずっと伸びた背筋、大きく開いた口、わずかに上半身を前後に揺らしながら歌う姿勢。そんな動作の一つ一つに子どもたちの成長を感じることができました。発表を終えて座席に戻ってきた子どもたちの顔は、緊張感から解放された安ど感と、やりきったという充実感に満たされていました。このような経験を経て、子どもたちは成長の階段を一步あがったことでしょう。